

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0302	政策名	学校教育の充実	施策主管課	学校教育課	課長名	及川 仁
政策の目指す姿		夢と希望を持ち、たくましくいきいきと育っています					
施策No	02	施策名	豊かな人間性の育成	関係課名	学務管理課		
施策の目指す姿		児童生徒が、郷土を誇りとし、自己肯定感や思いやりの気持ちを持っています					
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会ボランティア活動、各教科・領域や総合的な学習の時間及び復興教育活動等を通して、児童生徒の思いやりの心がはぐくまれています。 ・自己肯定感を持った児童生徒の割合が、年度ごとに大きく変動しています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親切・思いやりの心を持った児童生徒の割合を高い水準で維持するために、現在取り組んでいる施策を継続する必要があります。 ・自己肯定感を育てるためには、安定した学校生活の中で、多様な学習の機会や「他者のために自分が役に立っているという経験」が必要です。 							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア学習支援事業を継続し、家庭や地域の人々と連携したり、社会教育施設等を活用したりしながら、児童生徒の思いやりの心や、自己肯定感を高める指導の充実を図る。その際、地域や学校の実態に即した活動となるよう、コミュニティー・スクール、学校地域協働活動の枠組みを活用できるよう支援していく。

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> ・各校でキャリア学習支援事業の計画を立てる際に、コミュニティー・スクールに配置された地域コーディネーターが講師や地域のボランティア、活動場所等の調整を行ったことにより、各小・中学校のキャリア教育が円滑に実施され、学校地域協働活動の充実が図られた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 豊かな人間性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導に係る研修会の実施、6月1日「いじめ防止を考える日」の取組 ○道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「特別の教科 道徳」の授業改善 ○小・中学生の地域体験学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市内施設見学や農業体験学習、郷土芸能の伝承活動 ○生徒会におけるボランティア活動に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・校地周辺のゴミ拾いや雪かきボランティア ○小・中学生の復興・防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災被災地訪問学習、学校安全マップ作成、実践的な避難訓練 ○芸術文化活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市中学校文化連盟事業の補助、音楽コンクール等出場事業の補助

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
自己肯定感を持った児童生徒の割合(小学生)	岩手県学習定着度状況調査では、質問紙調査を併せて実施しており、設問内容は自己肯定感を測る指標として適当	問)自分には良いところがあると思いますか (1)ある、(2)どちらかといえばある、(3)どちらかといえばない、(4)ない	%	目標値	80.00	78.00	78.00	78.00	78.00	
				実績値	69.00	73.00	76.00	68.00		
自己肯定感を持った児童生徒の割合(中学生)	岩手県学習定着度状況調査では、質問紙調査を併せて実施しており、設問内容は自己肯定感を測る指標として適当	問)自分には良いところがあると思いますか (1)ある、(2)どちらかといえばある、(3)どちらかといえばない、(4)ない	%	目標値	70.00	71.00	71.00	71.00	71.00	
				実績値	70.00	72.00	71.00	74.00		
親切・思いやりの心を持った児童生徒の割合	岩手県学習定着度状況調査では、質問紙調査を併せて実施しており、設問内容は親切・思いやりの心を持っているかを測る指標として適当	問)人が困っているときは進んで助けますか (1)助けている、(2)どちらかといえば助けている、(3)どちらかといえば助けていない、(4)助けていない (1)、(2)と回答した児童及び生徒の割合で測る。(小5及び中2の値)	%	目標値	97.00	96.00	96.50	96.50	97.00	
				実績値	96.00	97.00	96.00	96.00		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「自己肯定感を持った児童生徒の割合」…【達成度 小学校c 中学校a】 中学校の実績値は昨年度を上回り望ましい傾向にあるが、小学校は目標値を下回っている。コロナ禍の中、多様な集団での活動とおして人とかかわりを広げ、自分が人の役に立っていることを実感したり、周りの人から肯定的な評価を受けたりする機会が不足した影響が、小学校でより大きく出ていることが要因として考えられる。 (小学校：目標値78.0 実績値68.0 中学校：目標値71.0 実績値74.0)</p> <p>■成果指標「親切・思いやりの心を持った児童生徒の割合」…【達成度 小学校b 中学校a】 小・中学校の実績値は昨年度並みで中学校は目標値を上回る結果となっており、改善傾向が続いている。道徳教育や人権教育、さらにはボランティア活動や被災地支援等、キャリア学習支援事業等の成果が表れているものと捉えている。 (小学校：目標値96.5 実績値96.0 中学校：目標値96.5 実績値98.0)</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
(キャリア学習支援事業) 自己肯定感や思いやりの心を育むために、多様な人々との関わりをおして、自分が人の役に立っていることを実感したり、周りの人から肯定的な評価を受けたりする経験が必要であり、今後も地域での体験的な学習の充実が望まれる。
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
・各事務事業は計画どおり実施され、一定の成果が見られるが、小学生の自己肯定感が低い傾向にあることから、引き続き体験的な学習の充実を図り、児童生徒が思いやりの心を育んだり、周囲から認められたりする機会を確保していく必要がある。
今後の方向性
・キャリア学習支援事業を継続し、各校が地域や学校の実態に即した体験的な学習やボランティア活動を工夫しながら実施できるよう、コミュニティ・スクール、学校地域協働活動の枠組みなども活用しながら支援していく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
010	学校文化活動事業費 花巻市中学校文化連盟事業補助金(50千円)、音楽コンクール等出場事業補助金5件(86千円)	学校教育	一致	間接・補完	-
			B		
020	キャリア学習支援事業費 小・中学校における地域体験学習、被災地訪問・防災教育などの復興教育、生徒会等によるボランティア活動への支援	学校教育	一致	間接・補完	B
			B		
030	人権教育研究推進事業費 人権教育研究指定校(花巻北中)において、人権教育に関する講演会やいじめ・情報モラルに係る生徒会活動等を行い、生徒の人権意識の醸成を図る	学校教育	一致	直結	B
			A		